

## 出場選手注意事項

- 1 申込みは所属団体一括となりますので参加料を添えて、所属団体代表者に提出してください。  
申込書はもれなく記入すること。学年・年齢・級位・段位など偽った場合、間違えた場合は失格とする。
- 2 参加料は組手・型に関わらず、一階級5,500円・二階級7,700円・三階級8,800円となります。  
※保険料込 【振込先】第四北越銀行 姥ヶ山支店 (普)1324040 口座名:古川 章
- 3 申込締切は11月4日(金)大会実行委員会必着。余裕をもって所属団体代表者に提出してください。
- 4 大会は三部制で行い、開会式、表彰式、閉会式は行いません。
- 5 第一部(幼年～小4まで 型・組手の各階級) 9:00受付 9:30～試合開始  
第二部(団体型・小5～高校生まで 型・組手の各階級) 11:00受付 11:30～試合開始  
第三部(一般以上 型・組手の各階級) 14:00受付 14:30～試合開始  
時間を厳守し、進行係の指示に従うこと。誘導は行いません。試合時間に遅れた場合は失格。
- 6 軽量級の選手は受付時、その場で計量を行います。※規定体重を超過した場合は失格とする。
- 7 診断書は不要ですが、体調に不安のある方の出場はお断りいたします。すべて自己責任とする。
- 8 手足の爪は短く切り、清潔な道着を着用すること。
- 9 頭髮の染色・脱色(金髪)およびピアスやトゥーなど、大会の趣旨に相応しくない身なりをしていた場合には、受付時に出場をお断りしますのでご注意ください。
- 10 安全性を配慮し、シニアのヘッドギア着用が義務付けとなりました。
- 11 ヘッドガードは指定のものを各自で用意し、マウスシールドを装着すること。
- 12 サポーターは必ず白いものを着用し、極端に薄いもの、皮製、合皮製のものは使用できません。
- 13 女子のチェストガードに関して腹部まで覆うタイプのは着用禁止とする。
- 14 赤ひもやサポーター、ヘッドガードなどの貸出しは一切いたしませんので各自で準備して下さい。
- 15 試合中選手が負傷した場合、主催者側の配慮により応急手当のみとし、保険範囲外の責任は一切負いません。
- 16 事前に大会参加が不可能になった場合は、必ず大会実行委員会事務局に連絡すること。
- 17 大会実行委員会に納入された参加料は、いかなる理由があろうとも返却されない。

### 〈組手の部・各階級の試合時間〉

階級	本戦	延長	体重判定	最終延長
幼年・小学生	1分	なし	なし	1分
小学生(準決勝以降)	1分30秒	なし	なし	1分
中学生・一般初級	1分30秒	なし	なし	1分
高校生	2分	なし	なし	1分30秒
一般女子	1分30秒	なし	なし	1分30秒
一般中級	1分30秒	なし	なし	1分30秒
シニア・ミドルシニア 初級	1分30秒	なし	なし	1分
グラントシニア 上級	1分30秒	なし	なし	1分30秒
一般軽量級・無差別級	2分	なし	なし	2分
〃 決勝	3分	2分	なし	2分

### 〈防具着用表〉

階級	ヘッドギア	拳	スネ	膝	チェストガード	ファウルカップ (女子アンダーガード)
幼年～小学2年	○	○	○	自由	×	○(女子自由)
小学3年～小学6年	○	○	○	○	×(女子自由)	○(女子自由)
中学生	○	○	○	○	×(女子○)	○(女子自由)
高校生	○	○	○	○	×	○
一般女子セーフティ	○	○	○	○	○	○
一般女子フルコン	×	×	○	自由	○	○
シニア・ミドル・グラントシニア	○	×	○	自由	×	○
グラントシニア59歳以上	○	○	○	自由	×	○
一般中級	×	×	○	自由	×	○
一般軽量級・無差別級	×	×	×	×	×	○

※全世界空手道連盟のルールに準ずる。

蹴りによる顔面ヒット、足払い、前蹴りによる尻もちも「技あり」とする。

### 〈型の部・判定項目および判定基準〉

判定項目	1. 正確性 立ち方、姿勢、目線、突き、受け、蹴り、攻撃部位の正確さ。
	2. 安定感 重心移動、回転運動、運足、跳躍、伏臥のバランス。
	3. 躍动感 身体の収縮、伸びやかな動きと躍動力。
	4. 力の強弱 無駄な力を入れず切れ味鋭い技、極め技は爆発的な力強さ。
	5. 技の緩急 スピード感、リズム感が単調にならず技に緩急をつける。
	6. 呼吸の調整 激し動き、ゆったりした動き、それぞれの動作と呼吸を調和させ乱れない呼吸と烈迫の気合。
	7. 残心 技が極まった後、型の納め際の敵の反撃に備える心の構え。
	8. 同調(型団体) 3名の競技者の拳動、強弱、スピード感、リズム感に差異がなく同調(調和)されている。
減点	1. 型(拳動等)の間違い。
	2. 一時的な停止。
判定基準	1. 減点1の場合、判定項目の優劣によって逆転の判定もあり得る。
	2. 減点2の場合、相手に減点1がない場合は判定負けとなる。
	3. 両者とも減点がない場合、判定項目の優劣で判定する。
失格	1. 型の忘却、間違いにより継続できない場合失格となる。

【会場】 上越市高田スポーツセンター

〒943-0835 上越市本城町9-50 TEL025-524-6119

【問合せ先】 北陸空手道錬成大会実行委員会事務局(新極真会新潟支部内)

〒950-2013 新潟市西区小針が丘2-54-2F TEL025-201-8318

《事務局直通》 080-1207-0824 FAX025-201-8379

《事務局 ㊟アドレス》shinkyokushinkai-niigata.jmk@docomo.ne.jp